

編集後記

“歯学部ニュース通巻126号は投稿が少なく白紙のまま発行になりました。”という不安に駆りたてられて本号の編集を始めたものの、それも杞憂に終わり、執筆者の皆様方の心のもった原稿をいただき発行にこぎつけることができました。玉稿を頂戴いたしました皆様に厚く御礼申し上げます。本号はこれまでの編集内容を踏襲しオーソドックスな構成になっておりますが、歯学部における活動を生き生きと伝えられるように執筆者のみな様にご依頼して、画像も充実させた編集となっています。新潟大学歯学部の“いま”を感じていただけますと幸いです。また、編集を担当いただきました先生には、いろいろ細かいことに注文をつけましたが、この場を借りて感謝を申し上げます。

歯科麻酔学分野 照光 真

今回、初めて歯学部ニュース編集委員を担当させていただきました。今まで読んでいた歯学部ニュースですが、読んでいただけと編集するのはもちろん大違いで、編集委員を引き受けた時は不安もありましたが、何とか役割を全うすることができました。突然の執筆依頼にも関わらずお忙しい中、締切どおりに快くご執筆下さった先生方、学生の皆さん、本当にありがとうございました。読者の皆さんには楽しんでいただければ幸いです。

歯科矯正学分野 竹山 雅規

お忙しい中、寄稿を快く了解して下さった方々には、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

顎顔面口腔外科学分野 児玉 泰光

今回、初めて歯学部ニュース編集委員を担当させていただきました。今までは何気なく読んでいた歯学部ニュースですが、今回編集に関わったことで編集や執筆に携わる多くの方々の尽力があって初めて完成できることを改めて実感いたしました。今後はまた新鮮な気持ちで読ませていただくことができそうです。

最後になりましたが、突然のお願いにも関わらず原稿執筆を快く引き受けて下さった先生方、学生の皆さんに感謝申し上げます。

生体歯科補綴学分野 秋葉 奈美

歯学部ニュース編集委員を初めて仰せつかりました。照光編集長の指揮の下、皆さんの協力を得て無事発行の運びとなりました。私は主として「歯学体報告」「部活動紹介」など歯学部生の項目を多く受け持ちました。私からメールで送られた突然の原稿依頼にも関わらず、皆さん快く引き受けてくださいました。また原稿締め切りの期日が近づくにつれ、本当に原稿を書いているのだろうかと一人で勝手に心配しましたが、皆さん期日通りに仕上げ送っていただき、不安になった自分を恥じました。本当にすばらしい学生さんたちでした。ありがとうございました。

インプラント治療部 山田 一穂